

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 R5年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス リズム

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別対応が可能な個室(学習スペース)を提供している	利用者のニーズ・保護者の要望に応えられるようにしたい
	2 職員の配置数は適切である	○		専門職員を配置し、個人の特性に添った対応を行う	職員が常にスキルアップできるように、研修等にも積極的に参加できるような環境を整えておく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		今後、必要に応じて適切なバリアフリー化に配慮していきたい
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全てのスタッフがPDCAサイクルに参画できる環境作りを心がけている	業務改善を進めるために、全てのスタッフで目標設定と振り返り(PDCAサイクル)に参画している
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施、保護者等の意向等の把握に努めている	これからもアンケートを実施し、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていきたい
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公表している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価については、必要に応じて行うようしたい
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			職員が研修を受講しやすいように、費用を負担している	事業所内研修だけでなく外部研修にも積極的に参加できるような環境を、常に整えておきたい
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメント、的確な課題分析をした上で、個別支援計画を作成している	これからも適切なアセスメントをもとに、子ども・保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成する
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常にチーム(全てのスタッフ)で行っている	これからも活動プログラムの立案は、チームで行っていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ニーズに応じた活動プログラムを準備・工夫し提供	これからもニーズに応じた活動プログラムの提供を行なながら、固定化しないように留意する
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		提供時間に即した支援を行っている	これからもサービス提供時間に即した課題に取り組んでいくようにしたい(休日・長期休暇には外出の機会を多くする等)
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		状況に応じ、個別活動・集団活動を組み合わせ個別支援計画を作成	これからも子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成する
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に全スタッフで打ち合わせを行い、支援内容・役割分担等を	継続して取り組む
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了時に全スタッフで打ち合わせを行い、支援の振り返り等を共有	継続して取り組む
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		適切に支援経過記録し、支援の検証・改善につなげる	継続して取り組む
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画見直しの必要性を判断	継続して取り組む
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに基づいた基本活動を組合せ支援	継続して取り組む

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席	継続して取り組む
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校との情報共有・連絡調整は、常に細やかに適切に行っている	継続して取り組む
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	保護者を通じて行っている	継続して取り組む
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	保護者を通じて行っている	継続して取り組む
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在、該当する利用者はいないが、学校卒業後の支援に向けた事業所等開設準備予定である
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	専門機関での研修に参加、助言を受けている	継続して取り組む
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	地域行事等に参加し、障がいのない子どもと活動	継続して取り組む
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		今後、地域自立支援協議会等へ積極的に参加できるように準備しておきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	保護者とフイン等で、子どもの状況・課題の共通理解をもつている	継続して取り組む
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者に対して、ペアレントトレーニングを行う	継続して取り組む
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時、運営規定・支援内容・利用者負担等について丁寧に説明	継続して取り組む
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者からの相談に応じ、必要な助言・支援を行う	継続して取り組む
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	コロナ禍により休止していた保護者参加イベントを再開予定である	継続して取り組む
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情について、対応の体制を整備している	継続して取り組む
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	フイン等で活動概要・行事予定や連絡体制等、情報を発信して	継続して取り組む
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報に十分注意している	継続して取り組む
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	子どもや保護者との意思疎通・情報伝達に配慮	継続して取り組む
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域に開かれた事業運営を図っている	継続して取り組む

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		各マニュアルを策定し、スタッフ・保護者に周知行う	継続して取り組む
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		定期的に避難・救出等の訓練を行っている	継続して取り組む
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待を防止するため、研修・適切な対応を行う	継続して取り組む
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		身体拘束を行うかについて組織的に決定し、保護者に十分に説明・了解を得る	継続して取り組む
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>		現在、食物アレルギーのある利用者はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有	継続して取り組む